

休眠預金等活用制度（※1）に基づく

「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」実行団体公募についてのお知らせ

一般社団法人 SINKa

このたび一般社団法人 SINKa（代表理事：濱砂清、所在地：福岡市中央区。以下「SINKa」）は、指定活用団体（※2）である一般財団法人日本民間公益活動連携機構（以下「JANPIA」）より、休眠預金等活用制度（※1）に基づく新型コロナウイルス対応緊急支援助成（緊急支援枠）において、福岡県で初めて資金分配団体（※3）として採択されました。今後、実行団体（※4）への公募説明会、公募を行い、助成を実施致します。

【事業の概要】

1) 事業名：

福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業

【副題】 いま動くしかない！居場所と出番づくり

2) 事業概要

SINKa は、九州・福岡県を対象に、コロナ禍で影響を受けている子ども若者、困難を有する方の生活困窮、学習格差、社会的孤立に対して、居場所・交流の場を提供することを旨として本助成事業を実施します。

3) 事業の背景、社会課題

新型コロナウイルス感染症拡大により多くの子ども若者、困難を抱える方への支援活動が実施できなくなり、繋がり、居場所の喪失により、経済的・精神的困窮が進行しています。福岡県（九州）域にあっては、次代を担う世代及びその家族、困難を抱える方及びその家族への支援が急務となっています。

4) 対象地域：特定地域（九州・福岡）

5) 助成金額総額：3,000 万円（1 団体当たり 300 万円から 1,500 万円）

6) 助成期間：2021 年 5 月（予定）から 2022 年 2 月まで

7) 公募期間(予定)：2021 年 4 月 19 日から 5 月 6 日まで

8) 実行団体の想定される活動

- 福岡県（九州）における子ども若者に対する居場所づくり
 - 食材提供、弁当提供等定期的な食支援
 - オンライン（LINE 等 SNS の）活用による学習支援、その他登校支援
 - 安心安全なまちづくり、デジタルハザードマップの構築
- 福岡県（九州）における困難を抱える方のコミュニティづくり、交流促進
 - SNS が使用できない人の文通交流、オンライン自立支援研修・面談、参加型コミュニティの構築
 - 入院患者向けオンライン音楽授業、コンサート配信による孤立対策

【この件に関するお問合せ先】

一般社団法人 SINKa 担当 外山（とやま）

URL：https://www.sinkweb.net/2021/11/post-251.html

電話（代表）092-762-3789 E-mail：sinka-01@sinkweb.net

福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業
いま動くしかない！居場所と出番づくり



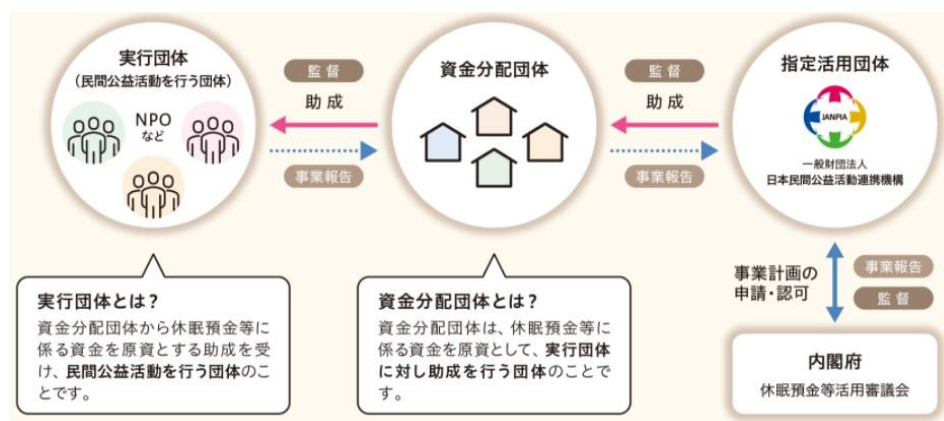
【一般社団法人 SINKa について】

2006年4月福岡を拠点に九州・全国での社会起業家創出支援ネットワーク設立を母体として、NPO等活動団体支援、人材育成・教育事業、企業の社会貢献・CSV・SB事業、事業型NPO育成事業、各種セミナーやフォーラム開催等の事業を通じて、人・事業・組織を創り出し、社会を豊かにする取り組みを展開しています。

公設民営センター（1施設）の運営を担い、県内外団体の伴走支援を実施。東峰村での地方創生、中山間地域再生支援も行っています。

○休眠預金等活用制度についての詳細は JANPIA WEB サイトを参照ください。

<https://www.janpia.or.jp/kyumin/>



(参考) 休眠預金等の活用の流れ (JANPIA WEB サイトより抜粋)

- ※1 休眠預金等活用制度とは、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（休眠預金活用法（平成28年法律第101号）」に基づき、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活動する制度。2019年度から制度がスタートしている。（出典：JANPIA WEB サイトより（以下特に記載がない限り同じ））
- ※2 指定活用団体とは、休眠預金等の資金の分配・管理等を行い、民間公益活動の好事例を積極的に創出・共有し、展開・発展させることで、社会の諸課題の解決のための自律的かつ持続的な仕組みの構築を促進するための団体。内閣府の公募によって2019年1月1日にJANPIAが指定されている。
- ※3 資金分配団体とは、休眠預金等の資金を原資として、実行団体へ助成を行う団体。
- ※4 実行団体とは、資金分配団体から休眠預金等に係る資金を原資とする助成を受け、民間公益活動を行う団体。

以上